

研究室配属実習報告（心臓血管外科）

・研修内容

私はテンプル大学の College of Engineering の研究室で約1ヶ月間、エレクトロスピニング法（電界紡糸法）を用いて製作されたナノファイバー膜を生体材料として医療に応用するための開発研究について学びました。研究者の方の横で説明を聞きながら見学をしたり、実際に私も簡単な操作を行わせていただいたりしました。

・成果

今回のアメリカでの研修経験は、私の人生にとって非常に大きな影響を持つものになると思います。今までの私の海外経験は、友人との旅行など、周りに日本人の知り合いが常にいて、かつ期間も短いものでした。しかし、今回の研修は、研究室では日本語を話せる人は一人もいないという環境で1ヶ月を過ごすという初めての経験となりました。最初はコミュニケーション上の不安が大きかったものの、徐々に話していることが聞き取れるようになり、最終的にはコミュニケーションを楽しめるようになりました。また、今までの私なら考えなかった、海外でのキャリアというのも、選択肢として考えるようになりました。普通の暮らしの中ではまず体験しない大きな変化と、それに適応するという今回の経験は、医学生としての私の生活に大きな刺激を与え、視野を拓けるとともに、将来、予期せぬ変化が起きた時にも、「私なら適応できる」という自信を持つ根拠となると思います。

